



全員が勝ち取ったMVP

ここ数年来、思うような行事ができないことが続きました。本日行った体育大会も保護者の入場を制限することが2年間続きました。ようやく今回はすべての保護者の方に参加していただくことができたことを本当にうれしく思います。まだまだ、完全な形ではないですが、その中で子どもたちは、自身のやるべきことに全力で取り組んでいました。

心を合わせて力強く堂々とした入場行進で始まった体育大会。力強い選手宣誓もみんなが本気で頑張ろうという心に火をつけてくれました。

開会式の時に次のような話をしました。「1年生は初めての体育大会、遠慮せずに自分の持てる力を発揮し、先輩たちの動きをしっかり見てほしい。2年生は、いよいよ一つ一つの行事が終わるたびに横堤中学校の中心になっていきます。しっかりとバトンを受け継ぎ、さらに成長するきっかけにして欲しいと思います。3年生はコロナの影響を最も受けた学年。何かと不安や悔しさがあったことだと思いますが、ここまで本当によく耐えて頑張ってきました。そして、中学校生活最後の体育大会となりました。今までも、そしてこれからも何かをするたびに”最後の”という言葉が付いて回ることだと思います。しかし、校長先生は最後の体育大会だから頑張れというつもりはありません。それはなぜか、みんなには〇〇だから頑張るという風に理由がないと頑張れない人にはなってほしくないです。今やらなくてはならないことが目の前にある。だから全力で頑張る。損得抜きに一生懸命、まっすぐに頑張ることができる。そういう人になって欲しいと願っています。どうか今日の体育大会もそういう気持ちで頑張りましょう。そして、一人一人がMVPを勝ち取ってほしいと思います。」と。そして、皆の思いが一つになって始まった体育大会は、一人一人が競技・応援、そして係の仕事と一つ一つに全力で取り組んでいました。全般を通じて感動したのは誰もが手を抜いていないこと、そしてその頑張っている人にクラスや学年を超えて暖かい声援を送っていることでした。



一つ一つの競技は、もちろん、学年種目も見ごたえがありました。扱いにくい大きなゴムボールを運び、最後は全員でゴールに運んだ1年生の「繋ぐ！43期のオモイダマ!!!」簡単そうで意外と難しいボールの扱いに苦戦しながら、力を合わせて頑張っていました。2年生は変則の綱引き。「筋力・走力・協力 3力綱引き」でした。クラスの女子が綱を引いているところに男子が走ってきて、協力して綱を引く。またその逆を行うという競技でした。まさに皆の力が一つにならないと力を発揮できない競技でした。3年生は「全員リレー」。全員が参加できるように、ハンデを持っている仲間のことも考え、そして暖かく応援している、3年生のやさしさが表れた競技でした。しかし、その走りっぷりは力強く、みている側もつい力が入ってしまったのは、さすがに3年生だと感じました。体育委員として最後までみんなを引っ張てくれた3年生の最後の言葉に胸を打たれたのは校長先生だけではなかったと思います。さあ、かっこいい先輩の姿を見た後輩たちが、来年、どんな体育大会を創ってくれるか、今から楽しみです。

最後になりましたが、保護者の皆さん、早朝よりの熱い声援、本当にありがとうございました。